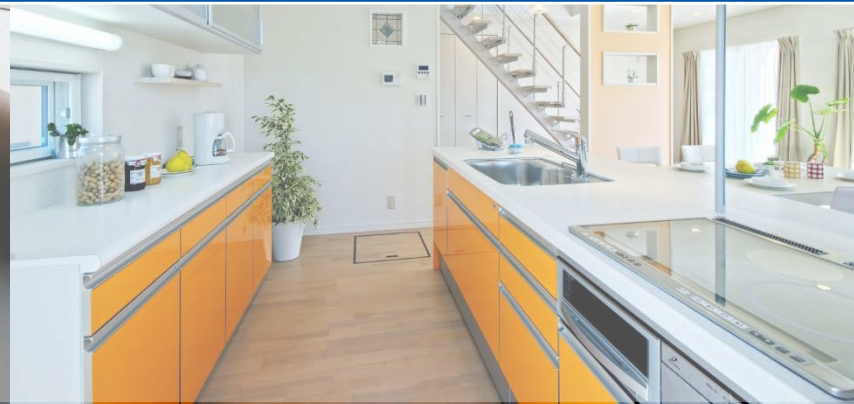
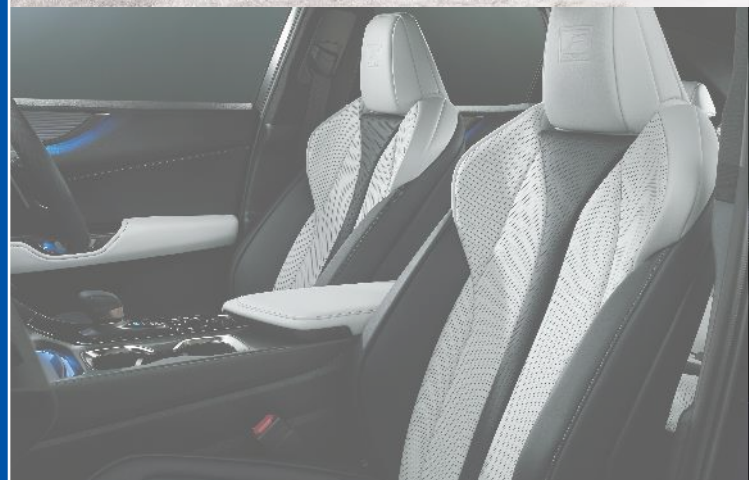




2022年3月期
決算概要説明
2022年6月3日

共和レザー株式会社
証券コード3553



■ 2022年3月期 決算概要	-----	2
■ 2023年3月期 業績予想	-----	7
■ 将来の持続的成長に向けて	-----	11

■ 2022年3月期 決算概要	-----	2
■ 2023年3月期 業績予想	-----	7
■ 将来の持続的成長に向けて	-----	11

決算概要 (1) 連結決算の概要

- 自動車メーカーからの受注回復などにより、売上高は前期比14.3%増の470億円となった
- 増収を主因に営業利益も前期比15.8%増の18億円、当期純利益も16.8%増の16億円となった

(百万円)

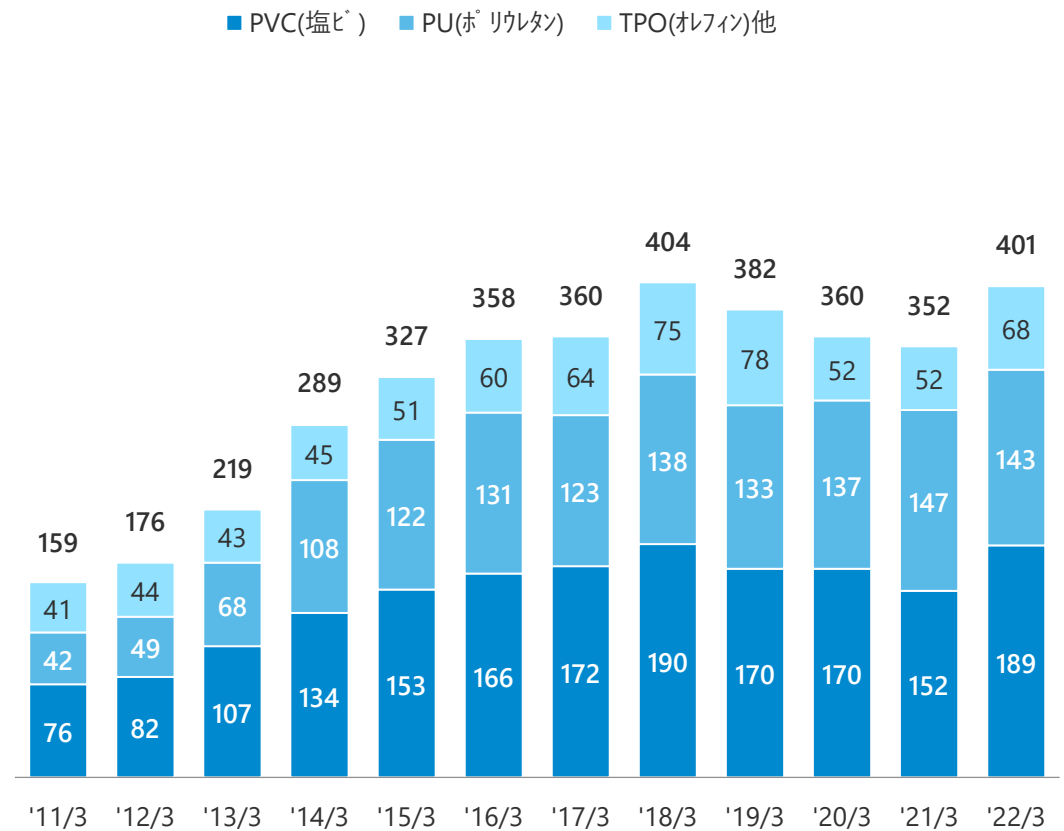
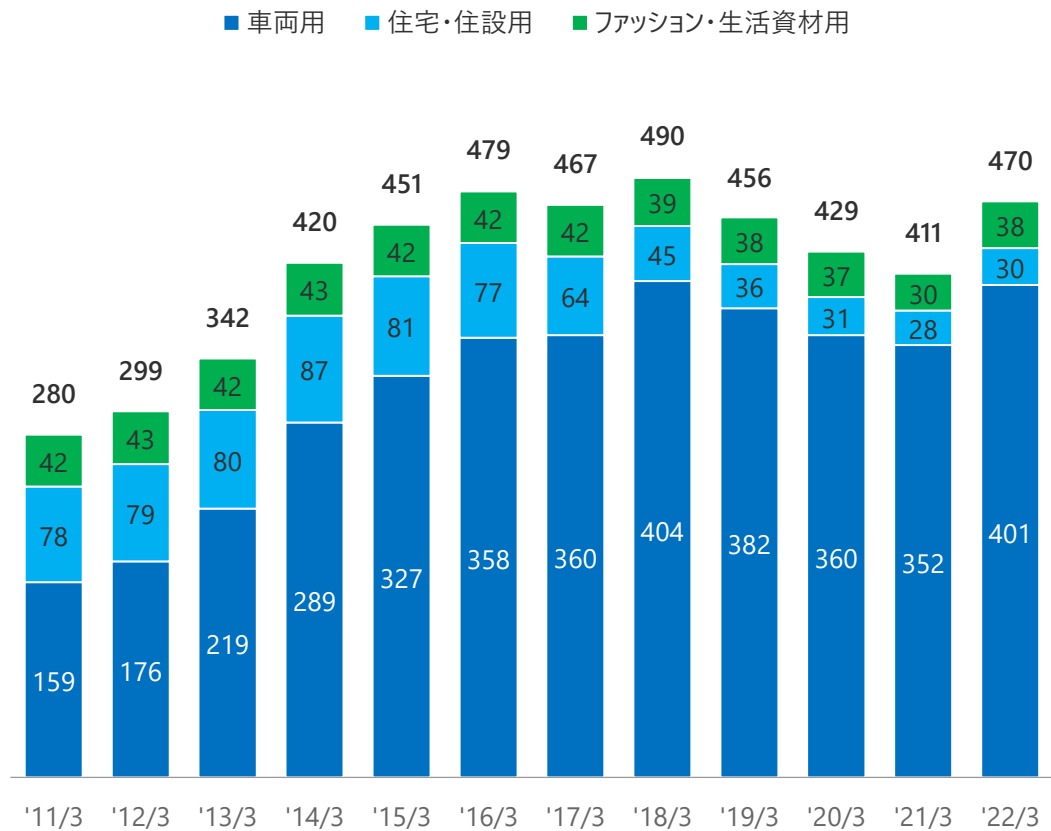
	2021年3月期		2022年3月期		増減	
	実績		実績			
売上高	41,182	100%	47,074	100%	+ 5,892	14.3%
営業利益	1,571	3.8%	1,819	3.9%	+ 247	15.8%
経常利益	1,907	4.6%	2,285	4.9%	+ 377	19.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,442	3.5%	1,684	3.6%	+ 242	16.8%
1株当たり当期純利益	58円86銭		68円85銭			
1株当たり配当金	26円00銭		28円00銭			

決算概要 (2) 用途別売上高

- 車両用は自動車メーカーからの受注回復により、前期比13.8%増の401億円とコロナ禍前の2019年3月期を上回った
- 住宅・住設用は前期比8.0%増の30億円、ファッション・生活資材用はスポーツ用品向けの用途拡大などにより前期比25.5%増の38億円となった

連結売上高 (億円)

うち車両用売上高 (億円)

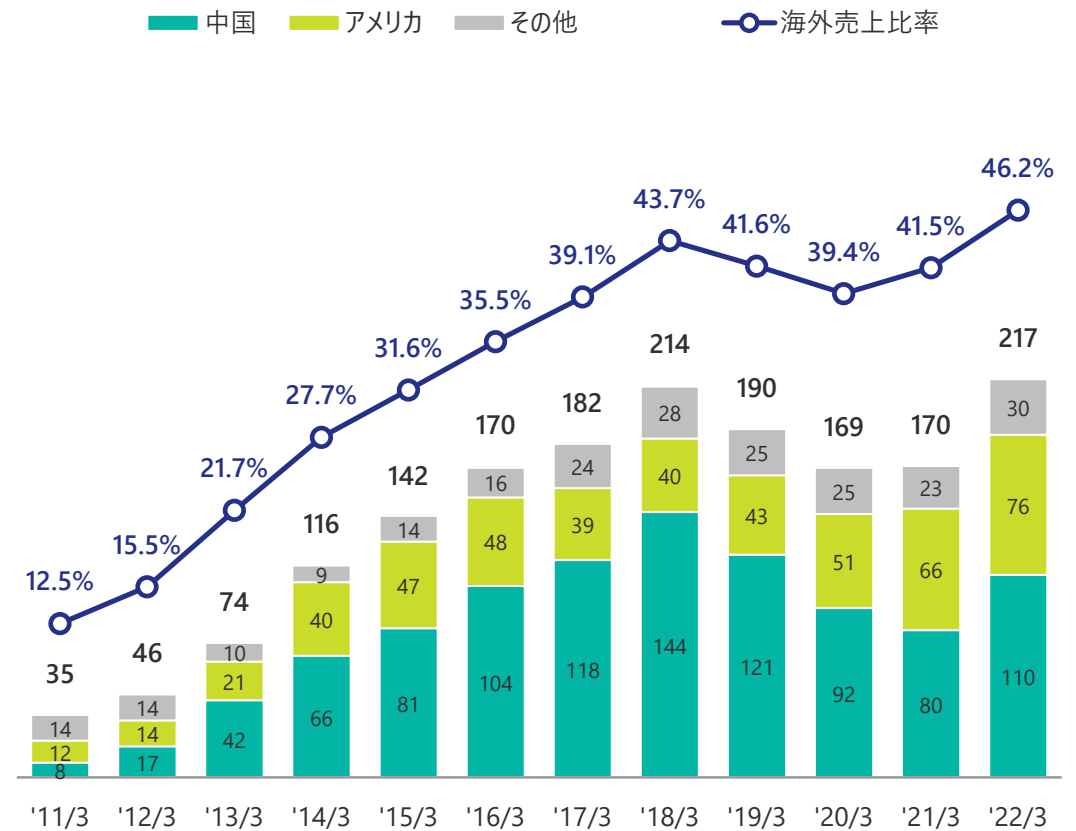
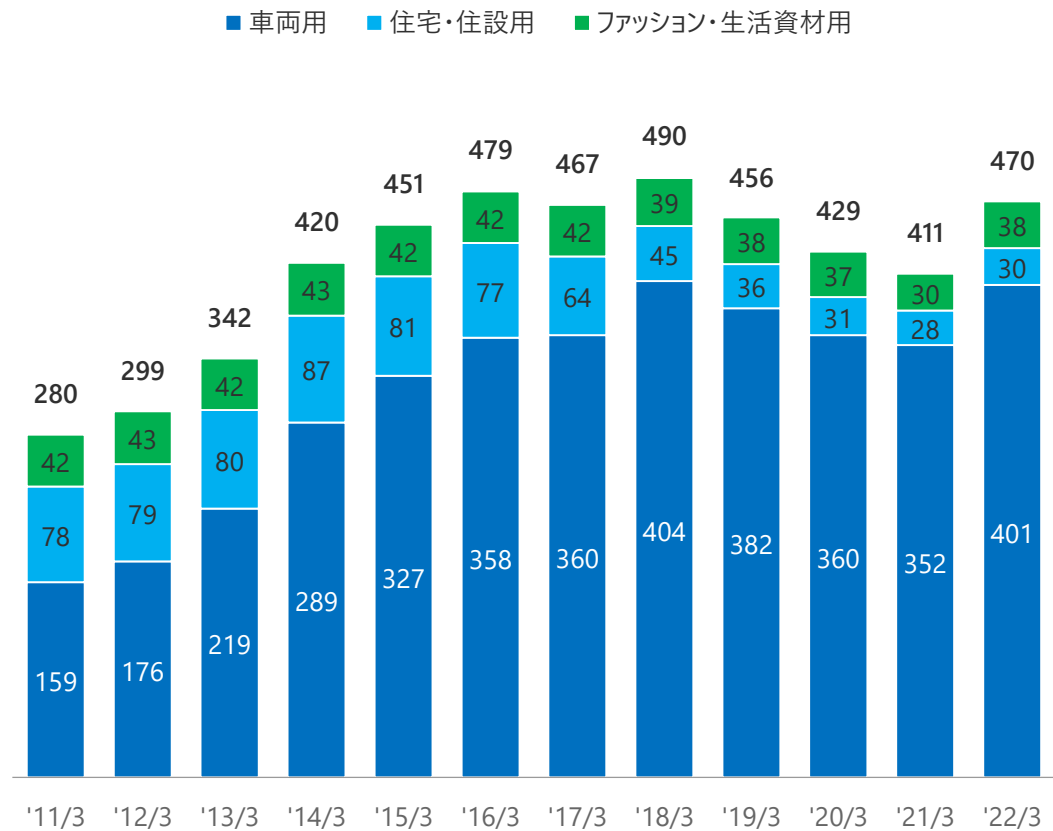


決算概要 (3) 海外売上高

– 海外売上高は自動車メーカーからの受注回復を主因に全地域で増収、海外売上比率は46.2%に上昇した

連結売上高 (億円)

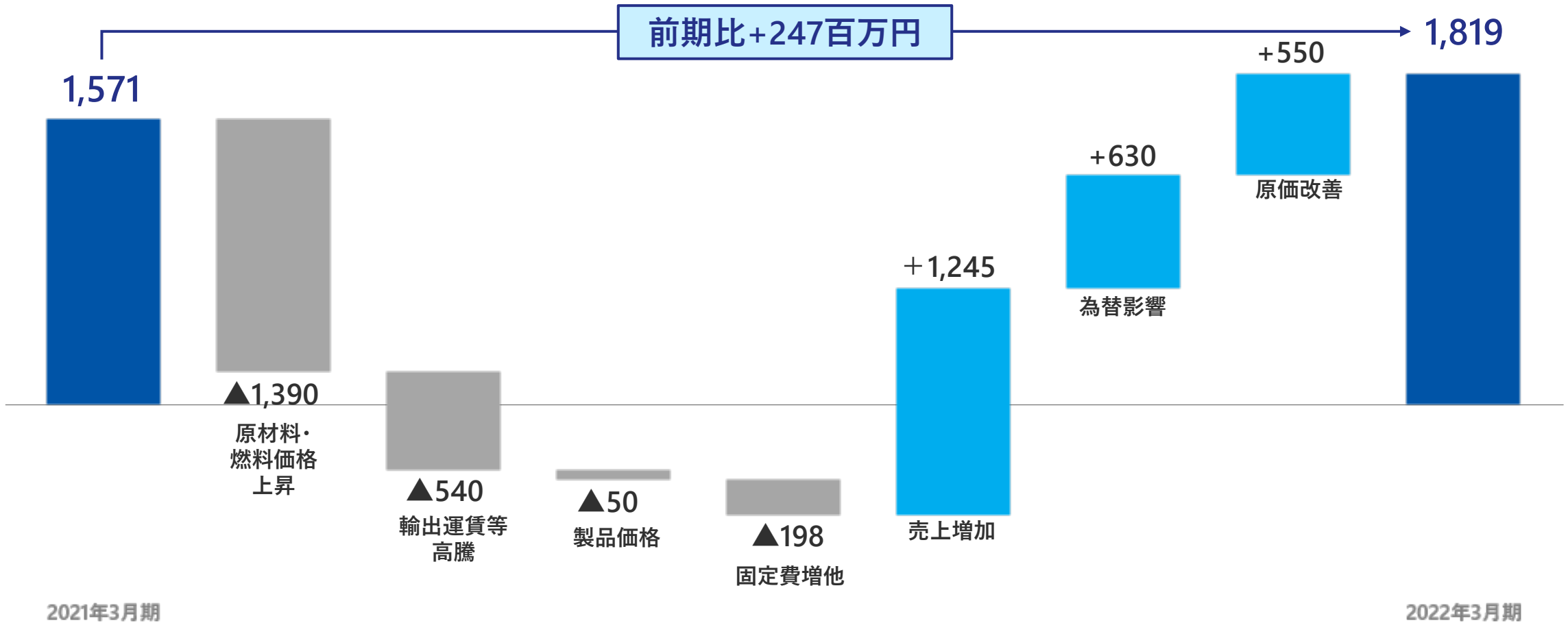
うち海外売上高 (億円)



決算概要 (4) 営業利益増減要因 (前期比)

－ 原材料・燃料価格や物流コストの上昇を増収効果や原価改善等で吸収し、営業利益は247百万円の増益となった

(単位：百万円)



■ 2022年3月期 決算概要	2
■ 2023年3月期 業績予想	7
■ 将来の持続的成長に向けて	11

業績予想 (1) 連結業績予想

- 自動車メーカーからの受注回復を前提に、売上高は前期比8.3%増の510億円を予想
- 増収効果や生産性改善は進めるが、前期後半から影響が拡大した原材料や燃料、輸出に関する物流コストの高騰が年間を通して影響すると想定されるため、営業利益は56.0%減益を予想

(百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		増減	
	実績		予想			
売上高	47,074	100%	51,000	100%	+ 3,926	8.3%
営業利益	1,819	3.9%	800	1.6%	▲1,019	▲56.0%
経常利益	2,285	4.9%	850	1.7%	▲1,435	▲62.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,684	3.6%	550	1.1%	▲1,134	▲67.3%

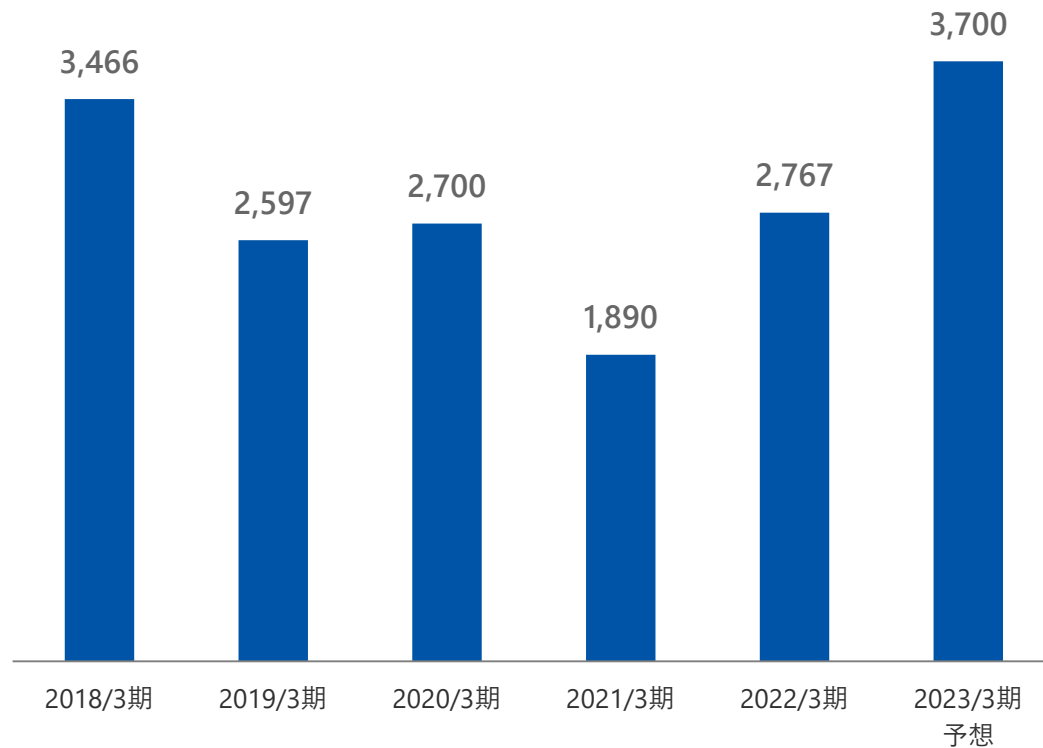
1株当たり当期純利益	68円85銭	22円82銭
1株当たり配当金	28円00銭	20円00銭

業績予想（2）設備投資、減価償却費

- 2022年3月期は計画情報の一元化を目的とした次世代基幹システムの開発、浅羽工場で蒸気ボイラー更新し、LNGへの燃料転換を進めるなどの投資を実施した
- 2023年3月期は引き続き次世代基幹システムの開発、脱臭機更新などの設備投資を計画

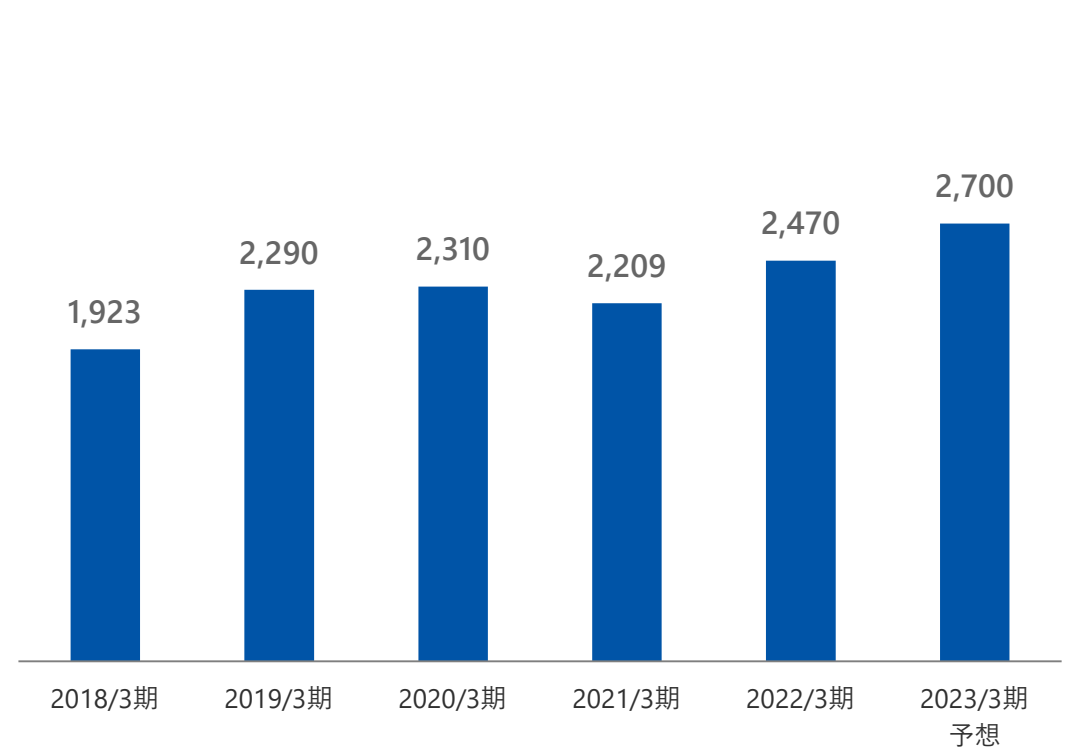
設備投資金額の推移

(百万円)



減価償却費の推移

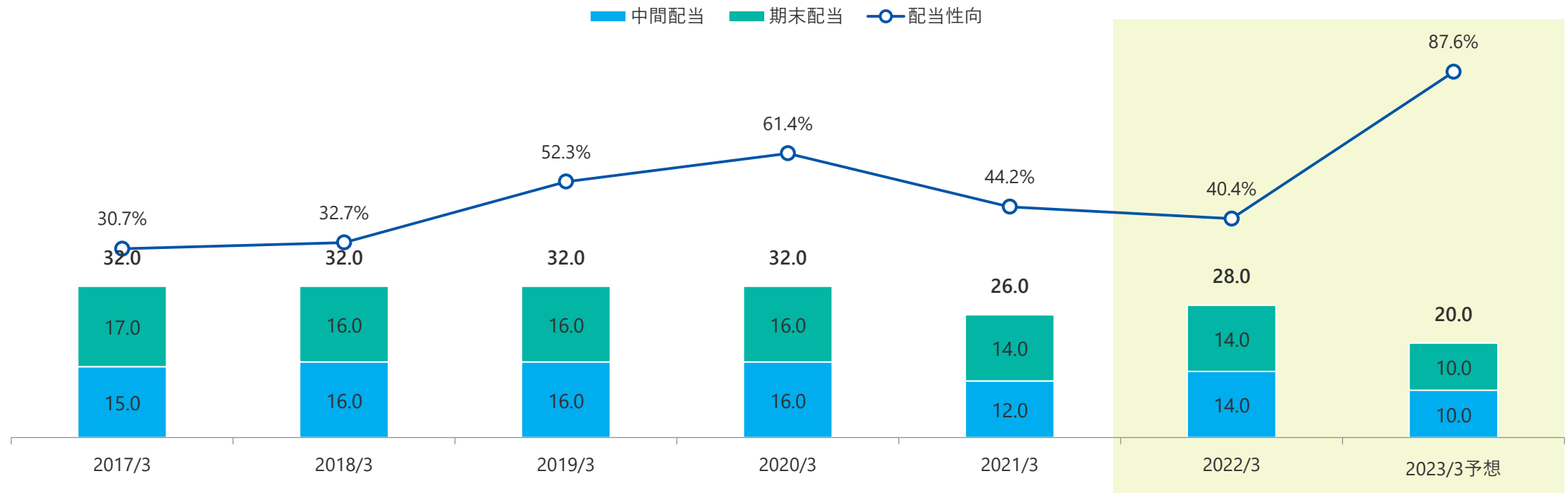
(百万円)



業績予想 (3) 株主還元

- 2022年3月期は前期比2.0円増配の年間28.0円の配当を実施予定
- 2023年3月期の年間配当は20.0円、配当性向は87.6%を予想

1株当たり配当金 (円)



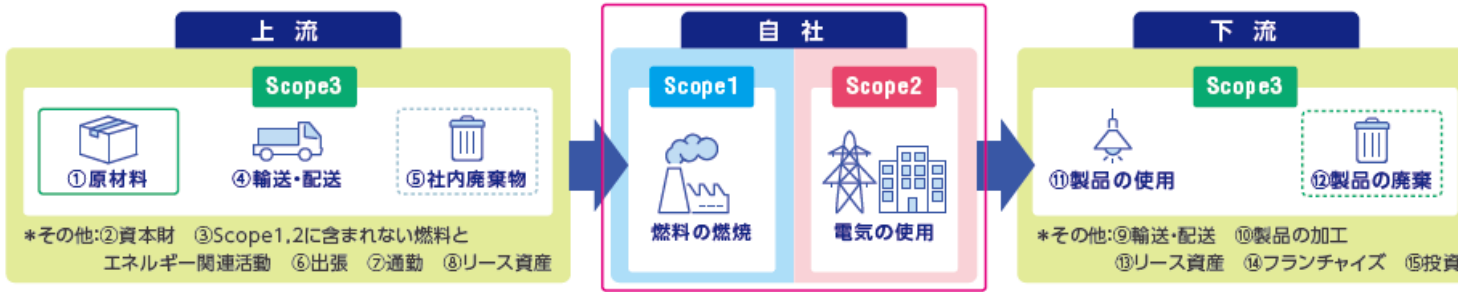
■ 2022年3月期 決算概要	2
■ 2023年3月期 業績予想	7
■ 将来の持続的成長に向けて	11

カーボンニュートラルに向けた取り組み

当社は、持続可能な社会の実現に向け、取り組みを進めております。

Scope1として使用燃料変更によるCO₂削減や、Scope2としてCO₂フリー電気の使用および太陽光発電の導入によるCO₂削減に取り組んでおります。

温室効果ガスの排出区分



出典：環境省「サプライチェーン排出量の算定と削減に向けて」

- Scope1** 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 (燃料の燃焼、工業プロセス)
- Scope2** 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3** Scope1、Scope2以外の間接排出 (事業者の活動に関連する他社の排出)

LNGへの燃料転換

Scope1

2022年1月に浅羽工場に新規蒸気ボイラーを導入し、A重油からLNG(液化天然ガス)へと燃料転換を進めました。LNGは燃焼時のCO₂排出量も少なく、従来のボイラーと比べ年間で40%程度の削減が期待されます。



浅羽工場蒸気ボイラー

CO₂削減比率 ▲40% (従来比)

太陽光発電の導入

Scope2

2020年にはCO₂排出量の削減に向けた改善として、浅羽工場において太陽光発電による再生可能エネルギーを導入しました。これにより年間約900万円の電力コスト削減と年間約170トンのCO₂削減が可能となりました。



浜松本社にCO₂フリー電気を導入

Scope2

2022年5月1日より浜松地区の本社・技術センターにおいて「CO₂フリー電気」を導入しました。これにより本社・技術センターで使用する電力の全量が再生可能エネルギー100%となり、電力使用に伴うCO₂排出量は実質ゼロになります。

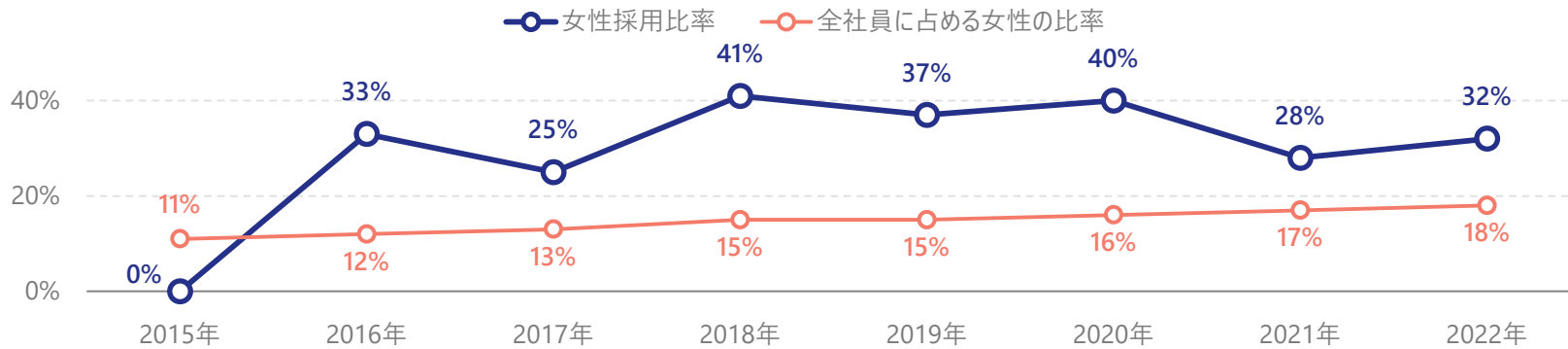
対象施設 本社 静岡県浜松市南区東町1876番地
技術センター 静岡県浜松市南区東町738番地2

導入比率 中部電力ミライズ(株)より全量「CO₂フリー電気」で受電

CO₂フリー電気購入契約証明書

静岡県の再エネ導入シンボルマーク

女性の採用比率20%以上を目標



今後、全社員に占める女性（現18%）、うち管理職に占める女性（現4%）の比率を共に向上させていく



製造部門の環境整備

- ・作業環境改善による製造部門の女性職域拡大
- ・重筋作業の改善
- ・女性の体格に合った工程づくり
- ・きれいで清潔な水回りを新設

シニア人財の人事制度見直し

- ・賃金体系制度見直し、雇用延長、ポスト新設

2022年3月健康経営優良法人認定取得（2020年より3年間継続中）

- ・「共和レザー健康宣言」
- ・特定保健指導、扶養家族の健康診断費用補助、勤務間インターバル制度



快適空間を化学する



【お問合せ先】

共和レザー株式会社

総務人事部

TEL 053-425-2121(代表)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。